



## 最新128スライスX線CT装置 導入 (PHILIPS社)

### 低被ばく・高画質撮影：iDose4

最新技術「逐次近似法」を応用した画像再構成『iDose4』により、従来X線CT装置と比較して全身領域で約30～50%、小児領域で最大80%のX線被ばくの低減が可能となりました。また従来のCT装置では、高画質撮影を行う場合に画像ノイズが大きな問題になり、使用が制限されてしまいました。

この「iDose4」では、画像ノイズを低減することで、被ばく低減+高画質（3D画像）を実現することができます。



胸部画像



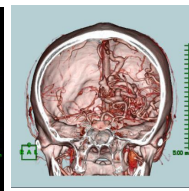
腹部画像



頭部画像



血管3D画像



頭部血管3D画像

### インプラント高画質画像：O-MAR

従来のCT装置では、体内インプラントが大きな弊害(金属アーチファクト)となっていました。最新技術である『O-MAR』は、この弊害を低減して、大幅な診断能向上を可能にしました。また椎体など3D画像でも威力を発揮します。



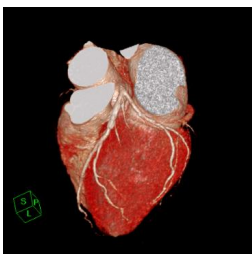
骨盤画像 (最新)



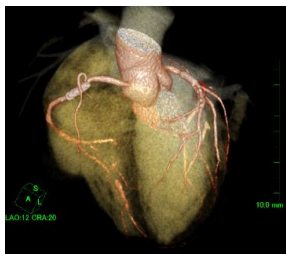
椎体画像

### 循環器領域：Beat to Beat アルゴリズム

特許技術『Beat to Beatアルゴリズム』では、心臓撮影時の心拍変動による画質劣化を自動で補正することができます。この技術によって、従来より高画質な画像を提供することが出来ます。また高速撮影をすることで、大血管の撮影も可能となります。



冠動脈3D画像



大血管3D画像



機器入れ替えのため9月14日から30日までCT検査はできません。10月1日より新CTが稼働します。ご迷惑をおかけしますがご協力願います。